テーマ　「　自然　」

ゆたか保育園(品川区)　５歳児クラス

設定理由
・近隣が低層住宅で園庭の日当たりがとても良く植栽に適しており、植栽活動を通して育てた草花を使った遊びや、収穫物を食べることで、様々な自然に興味関心をより深めるため

子どもの様子
・スイカを食べていると、たくさんの種が入っていて、いくつあるんだろう？と、疑問の声が上がったため、みんなで数えた
・みんなで協力して数えると、３１８個（２個のスイカの合計）あったことが分かった
・その種を使って、すいかのことを保育園のみんなに知らせることにした

活動名　「 スイカの収穫（８月)」

ねらい
・クラスで育てたスイカの収穫を喜ぶ
・収穫を通して、数などの学びに繋げる

用意した環境
・収穫したかぼちゃ　・はさみ
・ボンド　・色画用紙　・すりこ木棒

活動内容
・春から育てていたスイカが枯れてしまい、残った小さなスイカが２個生っているため、中がどうなっているか、食べられるのか、子どもたちから話しを聞いてみる
・スイカを収穫して子どもたちの目の前で割り、中を確認してみる
・食べた後の感想など、クラスで共有する

つるつるしてるね

中がどうなっているのかな？

すいかアート作成！

保育者の振り返りと気づき
・２～３人の仲間で数を数えたことで、友達同士の会話が生まれやすかった
・子どもの発想が数えるだけでなく、その後のすいかの種をどう使うか、考えていたことに驚かされた。すいかの種で何を書くか決めたり、模様を描いたりする活動に繋げることができた

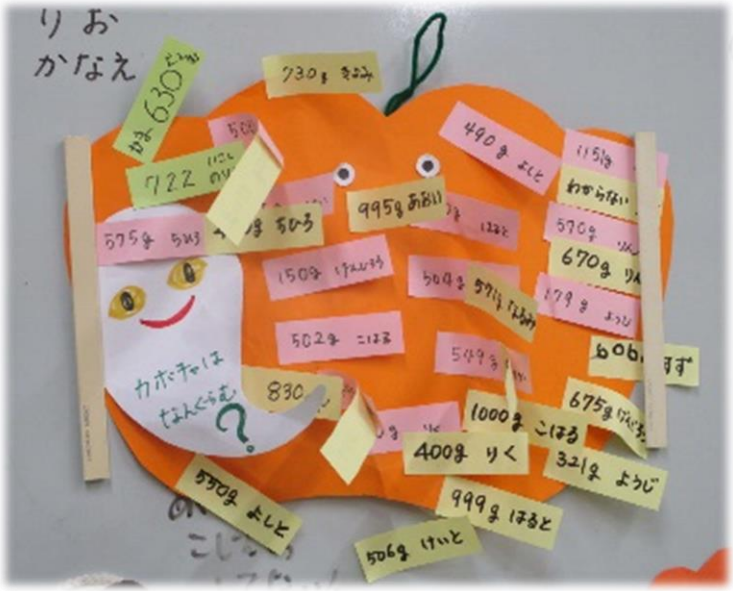
活動名「かぼちゃの計量会（１０月）」

ねらい
・重さを感じ、かぼちゃの重さを予測する
・経験の中から、重さに関する興味を広げる

用意した環境
・収穫したかぼちゃ
・カゴ　・計量器
・ペン　・色画用紙
・糊　・付箋

活動内容
・収穫したかぼちゃの重さを予想し、付箋に書いて廊下に掲示し、クラスで共有する
・収穫したかぼちゃの重さを計ることを通して、生長を喜ぶ
・身の回りの玩具など、重さを計ってみる

子どもの様子
・定期的に水やり、観察を通してカボチャに触れていたため、実際に手に取ってかぼちゃの重さを実感し、予想したことで、生長した喜びを友達と共感していた
・かぼちゃの重さをクラスで共有した後、結果発表したことで、実際の重さに近い数値を予想した友達の姿を喜んだり、認めたりしていた



保育者の振り返りと気づき
・重さの予想をきっかけに、計量器をいつでも使えるところに置いたことで、みかんや玩具等の重さを量ったり、１０００グラムはどれくらいか、ペットボトルに水を入れて調べたりする活動へと発展していった
・みかんを計量し水分が抜けて、軽くなった経験から、かぼちゃの計測が終わってからも、カボチャの重さが変わっていないかを調べたりする探求心に繋がった

活動名

「サツマイモ収穫（やきいも会）
　　芋づるリース作り（１１月）」

子どもの様子

・芋を包む際はペーパータオルを芋の大きさに応じてどう巻くか考えていた
・収穫した喜びを他クラスと共有したり、準備した芋を焼いもにして食べたり、保護者とリース作りをしたり、様々な喜びを感じていた

ねらい

・サツマイモを収穫し、味わう
・さつまいもを通して、異年齢や保護者との関わりを楽しむ

用意した環境

・茎と芋づるを入れるかご
・キッチンペーパー
・アルミホイル
・薪　・炭　・芋づる

活動内容

・園庭で自分たちが植えて育てていたサツマイモを収穫し、異年齢で関わりながら茎と芋づるを分ける
・５歳児クラス保護者と一緒に芋の茎でリース作りをする。芋づるのスジを取って、目の前で調理員に調理してもらって保護者と食べる
・園庭のやきいも会で、自分達が包んだ芋を包んで焼いて食べる

保育者の振り返りと気づき

・サツマイモを掘ることを楽しみにしており、収穫量が少なかったが、子どもたちは収穫した喜びを感じることができていた
・芋ほりに全園児で参加し、年長児が年下の子どもたちを優しくサポートすることで、最年長としての自信に繋がった

活動名

「園庭で収穫したカボチャを
食べる（１２月）」

ねらい

・自分たちで大切に育てたカボチャを味わう
・重さの変化を知る
・カボチャを通して、知ったこと気付いたこと、疑問に思ったことなど、クラスで共有する

用意した環境

・収穫したカボチャ　・計量器
・包丁　・まな板
・アルミホイルカップ
・ホットプレート

活動内容

・保育者がカボチャを切っている様子を見る
・園庭で収穫したカボチャを食べる
・切る前のカボチャに触れ、収穫直後との感触や重さの変化などの違いに気付く

子どもの様子

・保育者がカボチャを切る様子を見て、中に種があること、中身の色、切った直後は「メロンの匂い」がすることなど、気付きや、発見を友達と共有していた
・カボチャを焼いてるとき、メロンの香りから焼ける匂いへ変わっていく過程で「良い匂いがする」と、香りの変化や食べることの喜びを友達と共有していた

保育者の振り返りと気づき

・収穫時１１３２グラムだったカボチャが、食べる日には１０９６グラムになっていたことを重さに親しんできた経験から「水分が抜けたから」だと気づいていた
・自分たちが大事に育てたカボチャを味わい、友達に感想を伝え合い、自然と笑みがこぼれていた